

Ryukoku University



2025年度
龍谷大学大学院政策学研究科
修士課程 履修説明会

はじめに

●履修要項とは…

政策学研究科に関する様々な情報が記載されている非常に重要な要項です。

- ・科目情報
- ・修了要件
- ・休学の手続き
- ・学位授与までのスケジュール
- ・博士学位申請論文について
- ・各種規程、内規

などが記載されています。不明点があれば、まずは履修要項をご確認ください。

※履修要項は冊子では配布しません。

【2025年度政策学研究科履修要項】

<https://rishu.ryukoku.ac.jp/curriculum/graduate-policy/>



政策学研究科の概要

3つのコース、4つの科目群による系統的履修



4月3日（木）12：00までに、「コース登録届」をメールで提出してください。

履修説明会時に手書きで提出しても構いません。

政策学研究コース

【概要】

政策学研究に重点をおく大学院生を対象に、持続可能な発展という視点を基礎におきながら、参加と協働による地域政策について理論と実践の両面から研究を展開します。

政治学、行政学、地域経済学、財政学、都市政策論など地域ガバナンスにかかわる多様な科目のほか、環境や社会保障など政策分野の専門科目が配置されており、政策学全般の学術的な研究に関する科目を学修することで、政策学分野の学術的な研究力を修得します。

【修了要件単位】

32単位以上を修得すること。ただし「特別研究」（修士論文指導科目）4単位及び「政策学研究特別演習」4単位を必修とする。

32単位

特別研究
4単位

特別演習
4単位

授業科目 24単位

必修科目

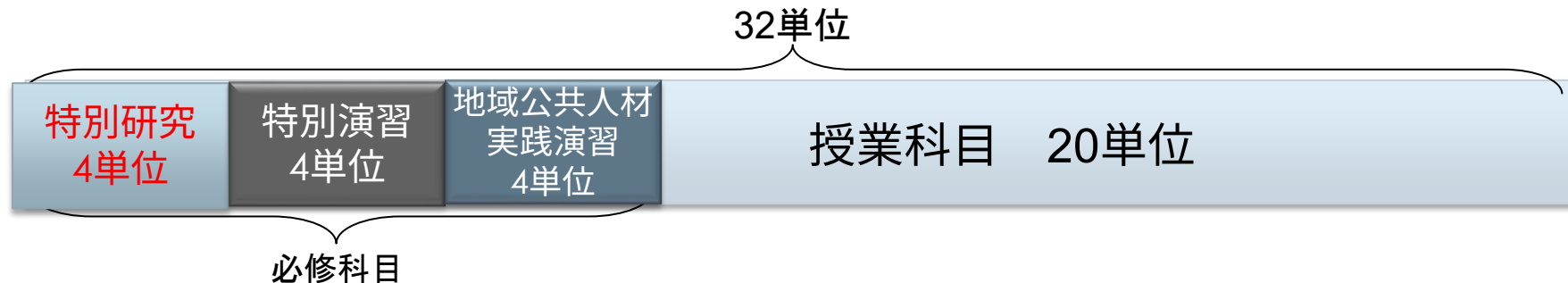
NPO・地方行政研究コース

【概要】

地域における課題とその解決方法を実践的に研究したい行政・NPOをはじめとする様々なセクターの職業人と、若い大学院生とのシナジー効果によって、視点を新たにしながら、現場を変えたいという使命感と実務能力をもった高度な専門的職業人を養成します。都市や農村に関する政策や、エネルギーや環境、コミュニティに関する理論や実践科目のほか、地域公共人材実践演習など地域における課題とその解決方法を実践的に研究する科目を学修することで、地域課題の分析と課題解決の力を修得します。

【修了要件単位】

32単位以上を修得すること。ただし「特別研究」（修士論文指導科目）4単位、「NPO・地方行政研究特別演習」4単位および「地域公共人材実践演習」（キャップストーン科目）4単位を必修とする。



【その他】

- ・ 地域公共人材総合研究プログラム提供科目（法学研究科科目）の受講が可能

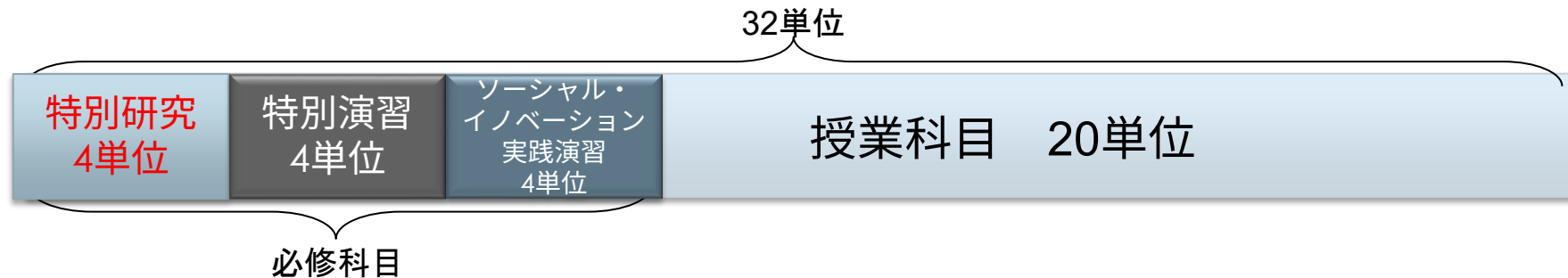
ソーシャル・イノベーション研究コース

【概要】

社会的ニーズを満たすための新たな価値創造を実践的に研究したいビジネスパーソンをはじめとする様々な職業人と、若い大学院生とのシナジー効果によって、新しい価値の創造を通じて社会を革新したいという実践的な専門的職業人を養成します。まちづくりやローカル・ビジネス、イノベーションに関する理論や実践科目のほか、ソーシャル・イノベーション実践演習など革新的な発想によって地域のポテンシャルの新たな活かし方を実践的に研究する科目を学修することで、地域ポテンシャルの発掘と価値創造の力を修得します。

【修了要件単位】

32単位以上を修得すること。ただし「特別研究」（修士論文指導科目）4単位、「ソーシャル・イノベーション研究特別演習」4単位および「ソーシャル・イノベーション実践演習」（キャップストーン科目）4単位を必修とする。



【その他】

- ・地域公共人材総合研究プログラム提供科目（法学研究科科目）の受講が可能

(1) 特別研究 (4単位必修)

修士論文・課題研究を提出し審査に合格すると単位を修得することができます。

※「課題研究」の詳細についてはWeb履修要項を確認。

(2) 特別演習 (4単位必修)

※個人の修士論文・課題研究の研究テーマに基づく議論・報告をおこなう科目

政策学研究コース生 : 「政策学研究特別演習」

NPO・地方行政研究コース生 : 「NPO・地方行政研究特別演習」

ソーシャル・イノベーション研究コース生 : 「ソーシャル・イノベーション研究特別演習」

※水曜日 6、7 講時 (18時35分～21時40分) または

土曜日 1、2 講時 (9時15分～12時30分) に隔週開講

※クラス (曜日) 分けは入学前に教務課にておこないます。原則変更はできませんのでご了承ください。

※所属するコースによって科目名が異なるのみであり、授業は全コース生が合同で出席しておこないます。

特別演習は、最大8単位まで修了要件に含めることができます。

修士（2年制）の場合は、8単位履修することを推奨します。

※前期と後期で原則クラス（水曜or土曜）の変更はできません。

（3）キャップストーン科目

- ・ NPO・地方行政研究コース生

「地域公共人材実践演習」（4単位必修）

- ・ ソーシャル・イノベーション研究コース生

「ソーシャル・イノベーション実践演習」（4単位必修）

※キャップストーン科目の詳細についてはWebシラバスを確認してください。シラバスの確認方法は後述します。

●修士論文

横40字×縦30行で、25枚以上

●課題研究

横40字×縦30行で、17枚以上

※3月修了者は1月に提出 9月修了者は7月に提出

※詳細は、Web履修要項を参照。

高度の専門的職業人の養成機能も担う政策学研究科では、
職業とかかわる特定の課題についての研究の成果（＝課題研究）をもって
修士論文に代えることができます。

- 1年前期：教育メンター（教員）の配置 1年後期：「研究プロジェクト」指導教員の配置（実質は2年次からの指導教員）
2年：指導教員の配置

- 論文中間報告会（7月12日（土）午後）※修了年次生が発表

各自の研究の進捗状況を共有する会。院生・教員が一堂に会し、講評や質疑応答により、教員から意見やアドバイスを受けることができる。

※修了年次生以外の院生も参加することが望ましい。

- 修士論文中間発表（11月中）※修了年次生が対象

主査1名、副査2名、提出者の4名による公開形式の発表会。修士論文作成の進捗状況の確認及び助言・指導を受ける場。

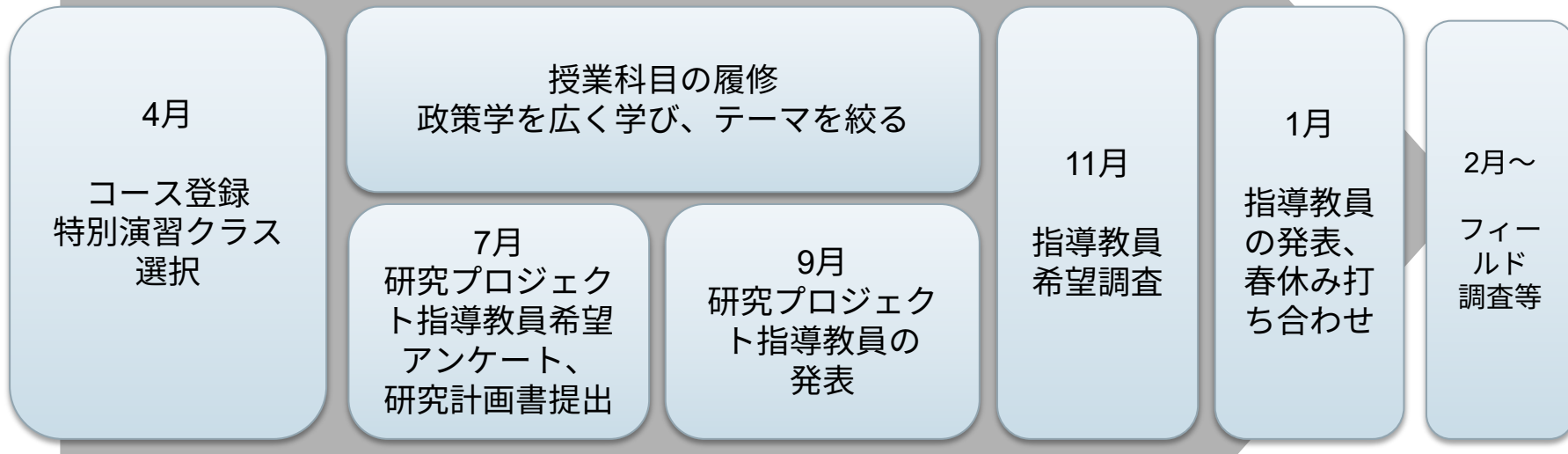
- 論文報告会（3月7日（土）午前～昼すぎ）※修了年次生が報告

修士課程の修了生、博士後期課程生等が執筆した（もしくは執筆中の）論文を報告する会。

※修了年次生以外の院生も参加することが望ましい。

これらの場を通じて、複数の教員からの指導・助言を得ることができます。

1年次



※前期に教育メンターを設定していますので、大学院での
研究や学修に関する相談については、別紙のメンターにご相談ください。

2年次



1年次



時間割・Web履修登録について

- 「時間割表」と「隔週開講科目実施日程表」を併せて確認（別紙）
- 授業の開講日、休講日等の予定は「学年暦」で確認（別紙）
- 教室はポータルサイト＞授業・履修・試験＞MY時間割にて確認（教員から個別にメール等で教室変更について連絡されることもあります。）
- 科目の詳細はWeb シラバスで確認（後述します）
- 履修登録はWebで行う（別紙）
- 隔週開講科目は同曜講時に2科目まで履修可 （日程重複に注意）
- 通年随時科目、通年集中科目は開講が不定期。開講予定表を確認（別紙）

※ 「ポータルサイト」「manaba」へのログイン方法については別紙参照。

修士課程 修了要件と履修モデル（参考） 修了要件単位数は32単位

ソーシャル・イノベーション研究コース生の場合

科目名	開講期	曜講時	単位	学習アウトカム※1	備考
特別研究	通年	随時	4		必修（修士論文・課題研究）
ソーシャル・イノベーション研究特別演習	前期（隔週）	水6・7※2	2		必修（土1・2開講も有）
ソーシャル・イノベーション研究特別演習	後期（隔週）	水6・7	2		必修（土1・2開講も有）
ソーシャル・イノベーション実践演習	通年	随時	4	5-1、5-2、5-3、5-4	必修
先進的地域政策研究	通年	随時	2	3-1、3-4、3-5	
都市・防災危機管理研究	前期（隔週）	水6・7※2	2	2-3、2-4、2-5	
ソーシャル・イノベーション研究	前期（隔週）	火6・7	2		※1 SI-D資格科目に適用
環境課題分析研究	前期（隔週）	月6・7※3	2		
地方行政実務演習	前期（隔週）	月6・7※3	2		
社会課題とメンタルケア	前期（隔週）	土3・4	2	2-1、2-5	京都文教大学提供科目 オンライン受講
ソーシャル・イノベーション入門	後期	木6	2	1-1、1-2、1-4	琉球大学提供科目 オンライン受講
都市政策研究	後期（隔週）	火6・7※4	2	2-2、2-6	※2※3※4はそれぞれ同じ曜日同じ曜 講時だが、隔週組み合わせで履修可能
地域協働研究	後期（隔週）	火6・7※4	2	3-1、3-5	
ローカル・ファイナンス研究	後期（隔週）	金6・7	2	3-1、3-3、3-5	
計			32		

- 4月に1年分の登録を行います。年間の履修計画を立ててください。
- 9月に後期開講科目のみ、追加・変更・削除が可能です。
- 履修登録制限（上限）はありません。
- 1年制の方は、1年目で修了要件を満たすように登録してください（32単位）。
- 「地域公共政策士」「ソーシャル・イノベーション・デザイナー」の資格取得を目指す場合、資格要件科目を確認のうえ、履修計画を立ててください（資格制度については後述します）。

- 5月、10月に履修辞退制度があります。同制度は、許可制です。
やむを得ない事情がない限りは許可できませんので計画的に履修登録をおこなってください（誤って登録した、授業が難しい、などは不可）。
- 「必修科目の特別演習」は教務課にて「確定」表示していますので選択不要です。
- 2講時連続の隔週開講科目は、Web登録上のエラーを回避するために、どちらかに片寄せしています（例：6・7講時隔週の科目は6講時または7講時の片方のみ表示）。正しい授業日程は、2025年度時間割表・隔週開講科目実施日程表でご確認ください。
- Web履修登録の具体的な方法について別紙をご覧ください。
- 必ず期限内に履修登録を確定してください。

●Web履修登録期間は次のとおりです。期限厳守です。全員が実施します。

2025年 4月 6日(日)	9:00～
2025年 4月 7日(月)	～ <u>16:00</u>

※一部の科目は受講許可が必要となります。詳細は履修説明会時に説明します。

※ポータルサイト＞授業・履修・試験＞最終履修登録・確定処理
から登録画面にアクセスできます。

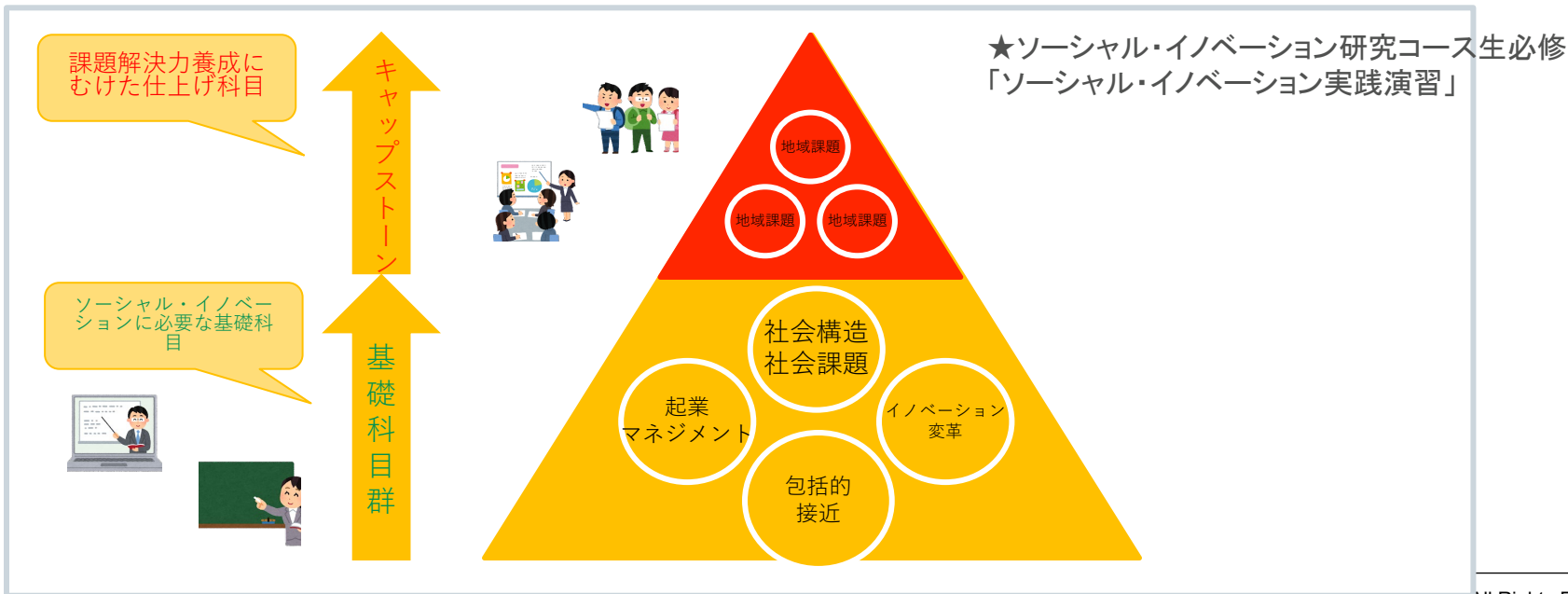
キャップストーン科目について

キャップストーン科目について

キャップストーンとは、「ピラミッドの頂上に載る石」の意で、専門教育の総仕上げの一つに位置づけられています。これまで学修した知識や技能を統合・応用して、組織が現場で直面している課題や実社会における問題の解決策を提示するプロジェクトに取り組む科目です。キャップストーン科目である「地域公共人材実践演習」、「ソーシャル・イノベーション実践演習」の詳細については、Webシラバスをご覧ください。

★NPO・地方行政研究コース生必修
「地域公共人材実践演習」

(例) ソーシャル・イノベーション研究コースにおける教育プログラム



**早期履修・他大学大学院等の科目の単位認定、1年修了
について**

●入学後上限15単位を上限に認定します。

（ただし履修のみを認めていた特別演習科目については単位認定の対象外とします。）

- ・単位認定を希望する場合は、「政策学部学生の大学院政策学研究科における科目履修制度（早期科目履修制度）による既修得科目の単位認定申請書」に認定希望する科目と単位数を記載し、4/4（金）17：00までに政策学部教務課へメールで提出してください。

seisaku@ad.ryukoku.ac.jp

●大学院各研究科が教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学院において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を15単位を上限に認定することができます。

単位認定を希望する場合は、「龍谷大学大学院政策学研究科 修士課程 既修得科目の単位認定申請書」に認定希望する科目と単位数を記載し、根拠資料（該当科目のシラバスや当時の成績評価が分かる資料など）を4/4（金）17：00までに政策学部教務課へメールで提出してください。
seisaku@ad.ryukoku.ac.jp

●「龍谷大学大学院学則」では通常2年の在学が必要ですが、研究科が優れた業績を上げたと認めた場合、1年の在学で修了することが可能です。

この制度により予め1年修了を希望し、定められた修了要件を満たし、研究科委員会にて優れた業績と認められた場合、1年修了が可能です。希望者は4/4（金） 17：00までに「一年修了希望申請書」を政策学部教務課へ提出してください。

（地域公共人材総合研究プログラム推薦入試合格者は不要です）。可否については後日お知らせします。

①学部・大学院合併科目	最大8単位まで
②放送大学科目	最大8単位まで
③他研究科科目	最大8単位まで
④他大学との単位互換科目 (佛教大学、琉球大学、京都文教大学)	最大15単位まで
⑤既修得科目(本学入学前の修得単位)	最大15単位まで
⑥早期履修制度により修得した単位について	最大15単位まで

※③～⑤は原則合わせて20単位を超えないものとする (本学大学院学則第9条の3)

地域公共政策士資格について

2011年度にスタートした京都発の地域資格で、地域公共人材の能力を認定します。

地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するカリキュラムを履修し、所定のポイントを取得すれば、認定期間である（一財）地域公共人材開発機構から「地域公共政策士」の資格が付与されます。

【特徴】

- ・ 地域公共政策士資格は、質保証された資格です。地域や社会の中で実践的に活躍できる人材であることを証明するものです。
- ・ 大学・大学院での学びを深め、地域で働くための専門性を磨くことができます。
- ・ 地域公共政策士資格取得者のネットワークがあり、活躍の場を広げていくことができます。

【その他】

- ・ 地域公共政策士資格の詳細については、本学Webサイトをご覧ください。
- ・ NPO・地方行政研究コース生については、地域公共政策士の取得を推奨します。



ソーシャル・イノベーション・デザイナー（SI-D）資格 について

ソーシャル・イノベーション人材のための職能資格です。認証された資格教育プログラムを修了し、資格申請すると「ソーシャル・イノベーション・デザイナー」資格が取得できます。学習アウトカムのレベルは、EUの教育・職能資格で用いられるEQFを参照し設定されています。SI-D資格はソーシャル・イノベーションで求められる能力を有していることの証明となります。

【ソーシャル・イノベーション人材に求められる能力】

- ・ 社会の仕組みに起因する解決すべき課題を発見できる
- ・ その課題を社会構造との関係で分析・把握できる
- ・ その課題に対し新規の効果的な解決策を構想できる
- ・ その解決策を事業化するために企画ができる
- ・ その事業企画を実現するための組織を築き、実践することができる
- ・ これらのことにより新たな価値を生み、課題解決し、それを社会に広げていくことができる
- ・ 上記の全てまたは一部を通じて課題解決に貢献できる



【その他】

- ・ ソーシャル・イノベーション・デザイナー（SI-D）資格の詳細については、本学Webサイトをご確認ください。
- ・ ソーシャル・イノベーション研究コース生については、ソーシャル・イノベーション・デザイナーの取得を推奨します。

琉球大学、京都文教大学との単位互換制度について

ソーシャル・イノベーション・デザイナー（SI-D）資格制度の充実と大学間の教育・研究活動の連携・協力関係の進展を目的とし、琉球大学、京都文教大学と単位互換協定を締結しています。

ソーシャル・イノベーション・デザイナー（SI-D）資格の取得希望者については、2大学からの提供科目の受講が可能です。多くの科目においてオンラインでの受講が可能です。

【開講科目】

- ・対象科目については別紙をご確認ください。
- ・2大学の科目の受講を希望される方については、2025年4月2日（水）～4月6日（日）の期間で申請書を提出していただく予定です。
- ・3大学の授業開始、終了時間が異なりますので計画的に履修してください。

講時	龍谷大学	琉球大学	京都文教大学
1	9:15-10:45	8:30-10:00	9:00-10:30
2	11:00-12:30	10:20-11:50	10:40-12:10
3	13:30-15:00	12:50-14:20	13:00-14:30
4	15:15-16:45	14:40-16:10	14:40-16:10
5	16:55-18:25	16:20-17:50	16:20-17:50
6	18:35-20:05	18:00-19:30	18:00-19:30
7	20:10-21:40	19:40-21:10	
8		21:10-21:55	

佛教大学との単位互換制度について

地域公共人材大学連携事業における地域資格認定制度の一層の充実と相互の教育・研究活動の連携・協力関係の進展を目的とし、佛教大学大学院社会学研究科と単位互換協定を締結しています。

詳細は別紙をご確認ください。

【開講科目】

- ・対象科目については別紙をご確認ください。
- ・受講を希望される方については、2025年4月4日（金）中に申請書を提出していただく予定です。

Webシラバスの確認方法について

シラバス＝「授業内容、授業計画」が詳しくまとめられた資料

時間割表を配布していますが、気になる科目がありましたら、本学Webサイトよりシラバスが閲覧できますので参考にご覧ください。

本学Webサイトトップ画面下



年度を設定して科目名で検索

■は入力必須項目です。

検索条件

年度	2023年度	対象学部	
配当年次		開講キャンパス	
開講期		時間帯コード	
曜日	☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日 ☐ 集中講義・その他	講時	☐ 1講時 ☐ 2講時 ☐ 3講時 ☐ 4講時 ☐ 5講時 ☐ 6講時 ☐ 7講時
公開後更新日	※今年度公開後に更新されたシラバスを検索します。		
科目名		担当者 (漢字・カナ)	 【部分一致で検索】 ※全角文字で検索してください
フリーワード		属性	参照 解除
履修科目のみ検索	☐ 履修科目のみ検索する場合、チェックを入れてください。 ※本学学生のみ、ブラウザからのポータルログイン時に利用可能です。(アプリからは利用不可) ※新・旧カリキュラムで合併開講している科目は、複数のシラバスが表示されます。		

一覧表示件数 50件

検索 クリア

学研災付帯賠償責任保険（学研賠）の加入について

学研災付帯賠償責任保険（学研賠）とは

日本国内外において学生が、加入しているコースの対象となる活動中およびその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

★政策学研究科生（修士・博士）は全員必ず加入していただきます（自己負担340円/1年間）。

①証明書発行サービスより手続き期間内にオンラインで納入してください。



詳細は本学ホームページの案内をご確認ください。（QRコード参照）

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/activity_support/application/issuance.html

②申請画面で「申込書」→「フィールドワーク等保険料（学生教育研究賠償責任保険）政策学部」を選択

④お支払状況はシステム上で確認いたします。窓口書類を提出する必要はありません。

※ 4月25日（金）中に手続きを完了してください。

その他注意事項

(1) 政策学研究科メーリングリストの利用について

→学籍番号から始まる個人の学内メールアドレスを登録します。

メーリングリスト：seisaku-2025@ml.ryukoku.ac.jp

個人学内メール：h25d○○○@mail.ryukoku.ac.jp

※ポータルサイト>情報環境>Gmailから受信ボックスにログインできます。

→政策学部教務課から、重要な内容の連絡をする際に使用します。

※必ず定期的に確認してください。奨学金の申込のメール等も送信されます。

(2) 授業に係る連絡（出欠等）

→科目担当教員へ直接連絡してください。

（政策学研究科メーリングリストや教務課へ連絡はしない）

→ オフィスアワー（教員の連絡先一覧）をポータルサイト>お知らせ に掲載。

及び授業の初回に、科目担当教員への連絡方法（manabaやメール）を確認してください。

(3) 学内メールアドレスを使った連絡

- 授業の休講・補講、集中・随時科目の開講日等、科目担当教員からの連絡は主に学内メールアドレスを使用します。
- その他、教務課からの各人への連絡も学内メールアドレスを使用しますので、個人のGmailに転送設定するなどして必ず確認するようにしてください。

(4) 提出物の締切について

- 提出物の締切は厳守です。締切を超えたものは受付られませんので時間に余裕を持って提出ください。

●4月2日（水）中に、メーリングリストにて今後教務課に提出が必要なデータを共有します。

●ダウンロードして、メールで教務課に提出するか、印刷して窓口に期日内に提出してください。極力メールでご提出ください。

（政策学部教務課） seisaku@ad.ryukoku.ac.jp 075-645-2285（アドレス帳に登録推奨）

まとめ

- ①まずは2025年度政策学研究科のWeb履修要項を見る。
- ②所属コースを決める。修了要件を確認する。
- ③資格取得を目指すかどうか検討する。
- ④Web履修登録を期日内に完了する。
- ⑤科目の詳細はWebシラバスを確認する。
- ⑥4月2日（火）以降に各種提出物を原則メールで期日内に教務課に提出する。
- ⑦大学Gmailを使用して教務課、教員とやりとりする。
- ⑧7月12日（土）午後、3月7日（土）午前～昼過ぎは論文報告会を実施するため予定を空けておく。※報告するのは修了年次生のみだが参加推奨。
1年制の方は報告対象です。
- ⑨修了式は3月14日（土）の予定（1年制の方対象）



**RYUKOKU
UNIVERSITY**